

## 体験イノベーション 「ホーコス株式会社」の講演

2020年6月16日7時間目に4年生を対象に、ホーコス株式会社の菅田雅夫さんと唐木俊夫さんを講師としてお迎えし、「海外展開」をテーマにご講演いただきました。

小型卓上工作機械製作、戦後は農機具（縄なえ機）の生産、その後、工作機械の生産を再開し、オンリーワン技術を磨き上げることで自動車生産機器の画期的な開発を行い、現在のように世界のほとんど全ての自動車製造関連会社へ納品するようになった経緯や、「飽くなき追求」の精神を持ち続け、現在は工作機械の他に建築設備機器や産業機械、そして環境改善機器の分野にも、展開していることなどをお話いただきました。



また、海外赴任をした社員がたくましくなり、帰国後に社内での中心として活躍するようになっているという話をされ、そのような力をつけるためには、若いときからいろいろなことに関心を持って挑戦することが大切であるとエールをいただきました。

生徒から、企業としての社会貢献について質問がなされ、菅田さんは「色々な意味においてより良い製品を提供すること」また、唐木さんは「地球益」ということばをあげて、「少ないエネルギーで生産をすることやごみの量を少なくすることなど、地球全体の利益を追求し続けること」とお答えいただきました。



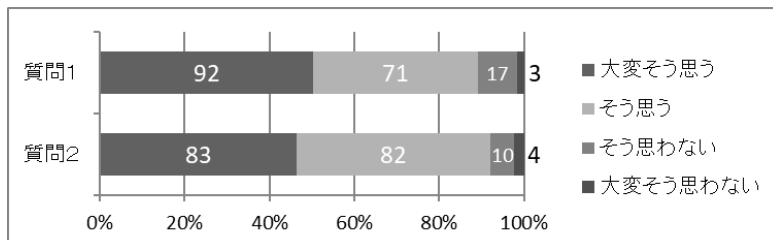
講演後の生徒のアンケートをまとめると以下のようになりました。

## 質問項目

1. 今日の講演は興味・関心をもって聞くことができましたか。
2. 今日の講演は新しい考え方や視点が学べるものでしたか。

## 集計結果

\*総数 183



## 〔生徒の感想〕

- 環境にも優しい、効率的な自社と社会の両方の利益になることをするという、時代に合わせた技術を開発するという、外国等にも販路や工場を拡大していくということというのは、新技術時代、環境保全時代、世界経済時代となった現代のどの分野でも役に立つのではないかと思います。そして「地球益」という考えは世界に広めるべきだと考えました。
- 小学校から機械に、中学校では海外に興味をわき、自分の将来を考えるのにとっても有益な時間だった。海外に目を向けることは今では多くの人が行っているかもしれないが、やはり行動力がなければ成功できないし、海外に目を向けて動くこと自体が、自分に成長や楽しみを与えてくれると思った。福山ではなかなか活躍できないと思っていたが、それは自分次第で、自分も世界の支えになりたいと思った。
- 小さな工場から始まり、戦争を乗り越え、さらにコスト削減のための機械や環境保全のための機器の開発をされ、世界中に展開する企業に成長されたのは、常に開発過程において、「追求」をなさって独自の技術を開発し、地道に営業活動をされたからこそである。何においても「追求」する姿勢、また「諦めない」姿勢が大切であると思う。
- 講演中の「常に飽くなき追求をすることが必要」という言葉がとても心に響きました。自分の将来の

ことを日本だけと視野を狭く持つのではなくて、世界にも目を向けて自分のやりたいことを決めていきたいと思いました。

○現状存在する問題を改善しようとする工夫をする中で革新的な技術が生まれることがある。それがより独自性が強く同時に汎用性の高いものであるほど、それ自体の「価値」が高いといえよう。価値のある技術は方々から自ずと求められるようになる。それが海外展開への足掛かりになるのだと思う。



○自信のある技術は、海外進出に於いて大きな力（誰にも負けないという気持ち）になることが分かった。製品を作るとき、効率・低コスト・環境など様々なことに配慮することが大切で、ホーコスが自動車業界で活躍できるのは、利益追求だけではなく、社会貢献を目指しているからだと思う。

○自分たちの先輩に実際に現場で働いている方がいると聞いて、また海外進出の際に活躍されたと聞いて、とてもすごいと思った。商品の改善で失敗しても何度も挑戦して成功させようとする姿勢は自分たちにも当てはまるのではないかと、とても大切なことだと思った。福山市から世界にこんなにも進出していることに驚いた。また環境に良い方法を考え、実際に実現させていて、自分たちの会社の音だけを考えるのではなく、世界や環境のことも考えていることを知った。

○切削油の使用がゼロにできないならミニマムに、汎用機で乗り遅れたなら専用機で勝負するなど、難局に直面しても方向性を変えることで改善し、その分野でトップレベルだったり、オンリーワンだったりする企業になることで生き残ってきたことが分かった。従来の部門に新たに環境改善部門を設置するのは大きな決断だったと思うが、その決断に踏み切れたのは何故だろうか。利益が見込めるものだったのだろうか。ライバルはどのような企業なのかも気になった。

○福山に全国、海外へ大きく展開している企業があると知り、とても誇らしくなった。毎日「いかに効率よく、いかに地球にやさしい機器をつくれるのか」開発していることが分かった。自分も職場選択をするときは、むやみに大手の企業を選ぶのではなく、若いうちから活躍できる地元の会社で福山に貢献することも視野に入れ、これからの総合学習をすすめていきたい。

○環境改善とコスト削減という大きな目標に向けて、試行錯誤を重ねて、一番良いものを追求するという姿勢を自分のこれからの学習態度に活かしていきたいと思いました。また、会社の運営をされる際に、顧客のニーズに応える、コスト削減を目指す、需要を発掘するといった市場経済的な視点だけでなく、環境改善という、グローバルで将来を見据えた視点で新技術を開発・提案しているのが素晴らしいと思いました。これからの社会をより良いものにしていくためには、市場経済の担い手の全てが協力し、企業が行動を起こすことによって、とても大きな変化を世界にもたらせるのではないかとと思いました。

○タイへの進出に際してのお話から、自分の会社や仲間に誇りを持っていることが感じられた。オンリーワンの技術をもった機械や環境に配慮した機能など、今まではない新しいものを開発していくことが求められる。もちろん失敗も多いが、上手くいかなくてもそれを次のきっかけにすることが大切である。福山市など地方の企業ならではの取り組みもあり、将来の進路の参考にしたいとも思った。

○自分たちで技術を極めることで、世界に認められ、海外事業が成功できることを学んだ。都市の企業へ就職することへの魅力があるように、ホーコス株式会社のような会社へ就職し海外事業を行うことへも魅力を感じた。現状に満足するとイノベーションというのは難しく、市場での競争にも負けると思った。



○最近のモノづくりは機械で自動的にというイメージが強かったが、やっぱり人がつくっているんだと思った。